

おかげさま

原中学校便り R3. 3.12 No.90 文責 古清水 巌

卒業式 来週に迫る

今週、諏訪の地域において、 新型コロナウイルス感染症に罹 りまれた方がいるとの報道がり りました。医療関係者へのとの もなした。医療関係者への りました。医療関係者へとの とですが、まだどこであっるとの とですが、まだどこであっると とですが、さない状況であるさい とだと思います。今でこと とだと思います。同時に く必要性を感じます。同時に く必要性をあるとし、 感染された方への偏見をなくし、



卒業をお祝いして在校生から



卒業証書授与の練習をする3年生

感染された方への偏見をなくし、配慮する必要性を改めて感じています。

卒業式が来週に迫っています。特に3年生には、素敵な卒業式が迎えられるように、残りの日々を大切に過ごしてほしいと願っています。

卒業式の練習では、卒業証書授与の動きを確認していました。まだまだ実感はわかないようでした。

本年度の卒業式はコロナ禍ということで、在校生並びにご来賓の参加を見合わせることとしました。しかし、保護者の皆様には、お子さんの卒業を祝っていただきたく、式典への人数を制限することなくご参加いただけます。卒業式後の学活については、会場が狭いこともあり、ご配慮をお願いしています。

プケコへの皆さんとオンラインで

昨年度に引き続き、プケコへへの訪問が中止となりました。しかし、交流は続けたいとの強い思いを皆さんが持ち、現在オンラインでの交流をしています。

訪問する予定であった方だけではなく、抽選でかなわなかった方も一緒になってビデオをつくるなどの活動を進めています。

もみの木祭において、プケコへの方と実際 に交流したいと計画中です。

高校入試を終えて

過日3月9・10日に、県立高校の 後期入試がありました。入試の内容を 見ると、例年以上に知識や理解につい て問う問題だけではなく、考え方など、 どのように解答を導き出そうとしてい るかを問う問題が増えてきた印象を持 ちました。

現在原中学校で大事にしている、学習の方向性と合致しています。自ら疑問を持ち、分かりたい、解決したいと思える学習を展開していきます。

先輩の姿を参考に

生徒会活動は、3年生から2年生が中心となる新 しい生徒会に引き継がれています。そして、順調に 活動を進めてくれています。

朝のあいさつ運動では、学校の皆さんだけではなく、村の皆さんにもあいさつをしたいと、役場近くまで行って実施しています。また、きれいな環境をつくりたいと、役員さんが校舎内を朝掃除する様子



拾ったゴミを持って登校



朝掃除をする生徒会役員さん

生徒の皆さんの中には、登校時にゴミ拾いをしてくる 人がいます。誰にも強制されているわけではありません。 意識として、"原村きれいにし隊"のメンバーとの認識が あるのではないかと嬉しく思います。現在募集させてい ただいている学校応援団の皆さんにもお伝えしています が、無理をすることなく、できる人が、できる時に、で きることを行っていくことがより良い学校や社会に繋が っていくのではないかと考えます。生徒の皆さんも、こ んなことであればできるかなということを、継続的に行 ってほしいと思います。

学校応援団 よろしくお願いします





新年に入り村民の皆さんを中心に募集させていただいている"学校応援団"に、現在 60 名を超える方から応募いただいています。たくさんの応募に感謝いたします。実際に組織立って活動できるのは、来年度からになりますが、多くの方に関心を持っていただけていることを大変嬉しく思います。少しずつ声をかけさせていただきます。

も見受けられま

すでに、読み聞かせではカントリーマアムさんに実施いただいていますが、新たに読み聞かせをやってみたいという方には、色々なサポートも考えてくださるということで、多くのつながりができるのではないかと楽しみです。また、先日は本校の卒業生である高校生が応募してくれました。そして、入試の日は時間が空いているからと、印刷のお手伝いに来てくれました。さらに、現3年生の中には、「高校に行ったら学校応援団になって、お手伝いをします」と言ってくれる人もいて、心強いです。先にも書かせていただきましたが、できる人が、できることを、できる時にやっていただけることを第一歩に、多くの繋がりができ、素敵な社会となるように思います。

【高校生が応援団として活動】と、記事になりました。それを見て「できることをやりたい」と声をかけてくださった方がいます。ちょうど、消毒作業を行っていただいた方がこられなくなることから、3月に入って消毒作業をお願いしています。無償での活動であるため、「申し訳ないです」と話をすると、「好きで応募させてもらった。どんどん使ってください」との返答。ただただ、感謝でしかありません。応援団は随時募集しています。